

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 繁文

No. 700

2025年4月刊

も・く・じ

日本を目指す人の流れ「経営・管理	2
「神なるオオカミ(上・下)」ほか	4
『有機の菜園12ヶ月』	8
ち便りから	10
合掌春子さん	12
戦後80年誰が受忍を強いたか	18
東京地裁傍聴記③	20
豚の「福祉」に向き合う	21
日中交流「民ご官を促せ」	24
「昭和100年」の意味	25
け・い・じ・ば・ん	26

編集・発行 鈴木厚正

〒266-0005 千葉市緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917



泉ゆきを『心はいつも山頭火』
(日本習字普及協会)

メール配信をご希望の方は、

<suzukikosei.san@gmail.com>へ。

三宅伊都子さんか

応対してくださいます。

題字 故佐村隆英和尚(千葉県長柄町本光寺住職)
力ツト 故泉ゆきをさん(にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※この号の切手はMy旅切手⑩

合掌 春子さん

正士さんのお母さんが、3月9日、亡くなられました。

30年間おせわりになりましたが、本当によく働く方でした。林業、茶園などの外仕事のほかに家事全般。正士さんの連れ合いが早くに亡くなつてからは、啓史さん、めぐみさんのお母さん代わりも務めてこなされました。深く腰が曲がつたのは、働き過ぎの結果にはかなりません。それとも、すべての家事をきちんと済ませておられました。

ぼくは、毎朝6時、母屋に行って新聞を読んでいましたが、いつも「お茶どうぞ」とすすめてくださいました。

それが3年ほど無くなり、徐々に認知機能の衰えが進んでいきました。何ぞもぞきた自分が、思うようにぞきなくなつたのが口惜しかったのをどう、「なんもぞきなくなっちゃつた」とくり返すようになりました。炊飯器のセットをいじつて正士さんを悩ませるようになったのは、無意識のうちに手が動いたのをどう。

やせてしましましたが、病気らしい病気もなく、強い身体の方でした。今年に入って衰えが進み、めぐちゃん(看護師)が勤める病院の施設に入院。1ヶ月ほどでしたがめぐちゃんに介護してもらって嬉しかったこと思います。

安らかにお眠りください。心からご冥福を願っています。

厚正

